

夢のお花見福袋企画をついに開催

満開の桜をめつつ「究極のお花見」を満喫

企画／阪神百貨店、シティリビング

阪神百貨店とシティリビングの共同企画」によって、1月に抽選販売された、「お花見トータルコーディネート福袋」。場所取りからお弁当、余興など、すべてをセットにした夢のようなお花見が、4月8日、桜の開花に合わせて、大阪城公園で行われました。

会場は、金曜日ということもあってか、場所が取れないほどの混雑ぶり。そんな中、「お花見福袋」が用意した席は、満開の桜が染

しめるビュースポットです。阪神百貨店の人気店、「柿安タイニング」による約10万円相当の「オリジナル創作お花見お重」をはじめ、ビールやおつまみもスタンバイ。辺りがほの暗くなり、美しくライトアップされ始めた頃、購入者の高松恵実さんと、会社のみなさんが到着しました。

桜の下に広げられたフルシートを見るやいなや、「すごい！ 広い！」と驚く高松さんたち。さらに、ライトアップされた大阪城を独り占めするような絶好のロケーションに、「めっちゃめちゃキレイ！」「せいatak」と驚嘆しつつ、その風景を、いっせいに携帯カメラで撮影する場面も。

いよいよお花見がスタート。福袋のメインともいえる、お重のフタが開けられると、色とりどりの高級食材に、再び歓声。乾杯！のあとは、ビールを片手に、旬の味を染しみながら、ごやかに宴が進行します。



幻想的なライトアップが、お花見ムードを盛り上げます。

会場がお花見ムード一色になったところで、若手芸人が登場。シートの輪に加わって繰り広げられるプロのお笑いステージは、アンコールまで飛び出すほどの盛り上がり。最後は、全員で記念撮影をして、夢のお花見は無事終了しました。

今回、「会社のみんなで楽しもうと思つて」と、購入を決めたという高松さん。手ぶらで味わえる、至れり尽くせりの内容に、「来年も当たったら、またやりたいです」と、満足そうなお顔をを見せてくれました。



見た目にも美しい創作お花見お重を堪能しながら、お笑しも満喫！